

令和5年度 福島中学校 シラバス

学年	3 学年	教科	家庭科	担当	豊田 映子	時数	17.5
----	------	----	-----	----	-------	----	------

◆教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。
--

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に取り組む態度 【主】
趣旨	<家族・家庭生活> 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わりについて理解し、幼児に合った遊び道具の製作ができる。	<家族・家庭生活> 幼児との関わり方や、幼児の遊び道具の製作について問題を見だし課題を設定できる。解決策を考え、表現するなど、課題を解決する力を身につけている。	<家族・家庭生活> よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活や、幼児の関わり方について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単元名	「到達目標」 学習活動	観点別評価の規準 【知】(知識・理解)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」 「自らの学びを調整しようとする態度」	評価方法
4月	幼児の生活と家族	幼児の頃と今と自分 1時間	○幼児期への関心をもつ。 ・自分の幼児期を振り返り、幼い頃の夢やエピソードなどをまとめる。	【思】幼児期を思いだし、興味のあったことや、家族との関わり等を思い出し、今の自分を振り返ることができる。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言
5月		幼児の体の発達 1時間	○幼児の身体の発達の特徴について理解する。 ・発達の方向性や順序性ととともに、個人差があることを理解する。 ・赤ちゃん人形を抱っこしてみよう。	【知】幼児の身体の発達の特徴について理解している。 【思】【主】新生児人形を抱っこすることで、新生児の特徴を理解し、赤ちゃんとの関わり方を考えようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 定期テスト
6月		幼児の心の発達 2時間	○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ・第一次反抗期の幼児を例に、幼児の心の発達の特徴について理解する。	【知】幼児の心の発達の特徴について理解している。 【思】【主】反抗期をむかえた幼児とどう接したらよいか、関わり方を考え、幼児の心の成長を理解しようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 定期テスト
7月		発達にとっての大人の役割 1時間	○基本的生活習慣を身につけていく過程での、家族や周囲のおとなの役割を考える。 ・おおかみにそだてられた子を例に考える。	【知】子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言 定期テスト
9月		遊びが必要なわけ 1時間	○こどもの頃の遊びを思い出し、幼児がいろいろな遊びで育つ力について考える。 ・幼児にとっての遊びの意義を理解する。	【知】遊びによって身につく能力について知り、幼児にとっての遊びの意義を理解している。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 定期テスト 【主】ワークシート・観察・発言ワークシート
10月		遊びを支える環境 2時間	○十分な遊びを経験するには、経験できる環境が大事であることを理解する。 ○遊び道具の選び方、与え方について知り、幼児のためになる遊び道具を工夫し、考える。	【知】遊び道具の本来のあり方を理解する。 【思】【主】幼児のための遊び道具について、考えようとしている。	【知】ワークシート 【思】ワークシート・観察 【主】ワークシート・観察・発言
12月		遊び道具(おもちゃの製作) 9時間	○幼児のための手作り絵本を制作。 幼児が喜ぶ楽しい絵本を制作する。 題材は自分たちで、色彩・デザイン・ストーリーなど考えて世界で一つの絵本を制作する。 ・計画 ・制作	【思】【主】幼児のためのおもちゃを計画し、制作している。 【知】おもちゃを通して幼児との関わり方を考え、制作にいかしている。 【主】制作したおもちゃを発表できる。	【知】制作レポート 【思】作品
1月		子供の成長と地域	○絵本の読み聞かせ大会を行う ○子供の成長と地域のつながりについて知り、地域の中で、中学生ができる事を考える。	【知】子どもの育つ環境としての家族の役割について理解している。 【知】家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 【思】【主】幼児との関わり方について考え、家族のあり方、関係性について見直し、これからの生活にいかそうとしている。	【主】ワークシート
2月		「生活にいかそう」 2時間			